

令和5年度

令和5年10月31日

学校だより



かもいの(な)(か)(ま) 一人じゃないよ!

夢に近づけ 今、鴨居がいいカモ!
横浜市立鴨居小学校

自己肯定感を高める カモフェス

こう ちょう つつみ たつし
校長 堤 達俊

朝晩ぐっと冷え込むようになり、本校から見える富士山は真っ白になりました。秋の深まりを感じます。

運動会には、多くの保護者の皆様にご参観をいただきありがとうございました。感染症による制限もなくなり、子どもたち一人ひとりが自分なりの達成感を得て、自信を深める姿を見ていただくことができうれしくおもっています。

さて、本校では、10月末から11月末まで集会委員会主催による「カモフェス」が行われています。「カモフェス」とは、「カモっ子フェスティバル」の略で、子どもたちが、自分たちの自慢できる技やみんなに見てもらいたいことを発表するイベントです。その内容も多岐にわたっていて、ダンス・ピアノ・折り紙・クイズ・歌・合奏・ヨーヨー・長縄・劇など様々です。内容によって体育館で発表したり、校内に動画で配信したりして、全校児童で楽しんでいます。

カモフェスの目的は、「一人ひとりの良さを互いに認め合う」ことにあります。自分の良さを堂々と発表し、それを認め称賛する子どもの姿を見ると、うれしくなります。

最近、子どもの自己肯定感の低さが話題になることが多くなっています。本校の昨年度の生活実態調査でも、「自分のことが好きですか。」「自分には良いところがあると思いますか。」という質問項目において、肯定的な回答をした児童が、多くの学年で市平均を下回っていることがわかっています。

鴨居小では、子どもを他と比較して評価するのではなく、一人ひとりの良さを認め、自己肯定感を高める活動を多く取り入れています。カモフェスもその一つです。自分に自信をもち、個性を大切に力強く生きていく子どもたちをこれからも励まし、支援していきます。

【鴨居の自然 ～モズ～】

秋になり、「キィキィキィ」といモズの高鳴きをよく耳にするようになりました。モズは、冬でもなわばりをつくるため、その宣言をしますが、北門付近では、このオスがなわばりを確定したようです。モズは、漢字で「百舌鳥」と書くように、いろいろな鳥の鳴きまねをするのが得意です。モズは猛禽類ではありませんが、自分より大きな鳥を襲って食べるほど獰猛です。

